

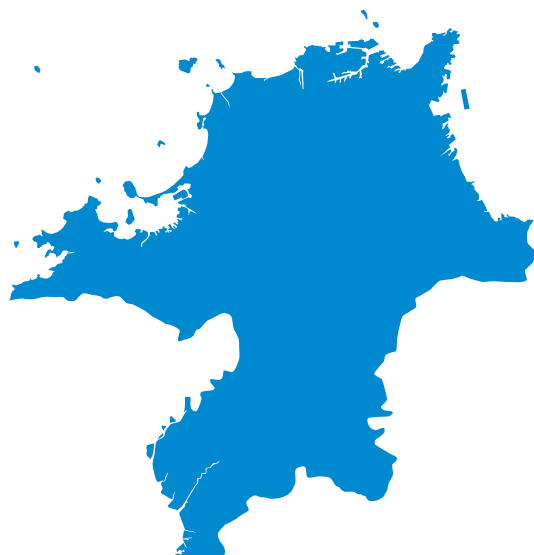
参考3 福岡県総合計画（概要版・抜粋）

福岡県総合計画

「**県民幸福度**

日本一の

福岡県を**目指して**



福岡県総合計画

「県民幸福度日本一」の福岡県を目指して

計画策定の趣旨

経済のグローバル化の進展や、アジアの発展と国際競争の激化、超高齢社会・人口減少社会の到来などにより、社会の基本的な構造や私たちの生活様式は大きく変化しています。また、課題山積で正念場にあった日本に東日本大震災による甚大な被害が発生し、我が国はこれまでに経験したことのない試練を迎えています。このような状況の中、本県の持つ強みを活かし、県民一人ひとりが元気を出し、地域が活性化し発展していけるよう新たな総合計画を策定しました。

計画の性格

県が目指すべき姿を示すとともに、県政の各分野における施策の方向を示し、県の行政運営の指針となるものです。

計画の期間

今日の経済・社会の変化の大きさと速さを考慮し、10年程度先の社会を見据えつつ、実効性のある計画期間として5年間（平成24年度～28年度）とします。

計画の推進に当たっての基本的姿勢

基本的姿勢

■ 開かれた県政

情報公開の徹底、県民への迅速な情報提供など県民にわかりやすい、積極的な広報を行い、県政の透明度を高めます。また、県政に参画しやすい環境づくりを進め、県と多様な主体との協働による発展的な県政運営を推進します。

■ 現場主義

県民と直接向かい合って、現状や意見を聞き、生活者の目線に立って政策を立案し実行する現場主義を基本とし、時代の変化に柔軟に対応した県政運営に取り組みます。

県の役割

■ 広域的な対応を要するもの

■ 高度な技術、専門性を要するもの

■ 国・他県・市町村間などで調整を要するもの

■ 時代の潮流を捉え、広く県民と共に進める運動



計画の基本的な考え方

「県民幸福度日本一」を目指す

県民生活の「安定」「安全」「安心」の向上

10の事項の実現に取り組む

- 1 活力にあふれ成長力に富んだ経済と雇用の創出
- 2 災害や犯罪、事故がなく、安全で安心して暮らせること
- 3 高齢者や障害者が安心してはつらつと生活できること
- 4 女性がいきいきと働き活躍できること
- 5 安心して子育てができること
- 6 子ども・若者が夢を抱き、将来に向かってはばたけること
- 7 誰もが元気で健康に暮らせること
- 8 心のぬくもりと絆を実感できる社会であること
- 9 環境と調和し、快適に暮らせること
- 10 豊かな文化を楽しみ、幅広い分野の国際交流を実感できること

具体的な施策の総合的な展開

【3つの視点】

- ◇アジアの活力を取り込み、アジアとともに発展する。
- ◇それぞれの地域が特色を活かし、地域の経済を活性化させ元気になる。
- ◇生活者の視点を大事にし、一人ひとりの幸福実感を向上させる。

県民意識調査



PDCA サイクル*により好循環を構築

具体的な施策目標



PDCA サイクル*により好循環を構築

「県民幸福度日本一の福岡県」
～ 幸福を実感できる福岡県 ～

*PDCAサイクル: Plan(計画)—Do(実行)—Check(評価)—Action(改善)を繰り返すことにより、効率性、有効性を向上させていくマネジメント手法の一つ。

時代の潮流と福岡県が目指す姿

I 時代の潮流

- 1 超高齢社会・人口減少社会の到来
- 2 停滞する我が国経済とアジアの経済成長
- 3 安全・安心に対する意識の高まり
- 4 持続的な発展に向けた新たな課題の顕在化
- 5 価値観の多様化とつながりの希薄化
- 6 情報社会の急激な進展
- 7 地方自治新時代の到来

II 福岡県の強み

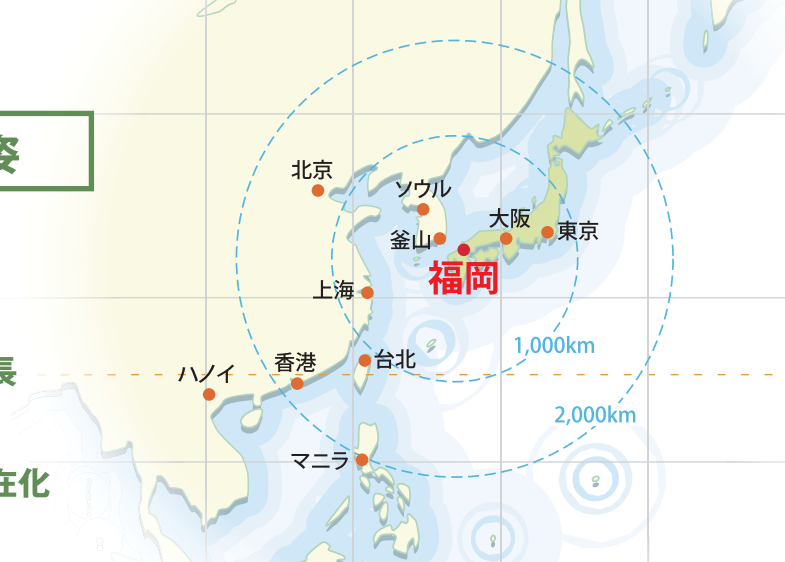
- 1 日本で最もアジアに近い地理的条件と優れたネットワーク
- 2 多様な産業集積と優秀な人材
- 3 快適な生活環境と多様な地域の歴史・文化

III 福岡県が目指す姿

超高齢社会・人口減少社会の到来、停滞する我が国経済とアジアの経済成長、安全・安心に対する意識の高まりなどの時代の潮流のなか、恵まれた地理的条件と発達した交通網、多様な産業集積や優秀な人材などの本県の強みを踏まえ、福岡県は、我が国の中枢機能の一端を担い、アジア展開のフロンティアの重要な拠点としてその役割を果たすと同時に、県民一人ひとりが内面的にも充実し幸福を実感できる県として一層飛躍していくことを目指します。

そのためには、アジアの活力を取り込み、地域の経済を活性化させ雇用を確保していくとともに、災害への備えを万全にし、安全で安心できる社会をつくっていくことが重要です。同時に、教育、健康・福祉、子育て、共助社会づくり、環境・エネルギー、文化などの分野についても、これまで以上に生活者の視点を重視し、施策の一層の充実を図っていくことが大事です。

これらのことに総合的に取り組み、県民一人ひとりが幸福を実感でき、自信と誇りを持てる福岡県、「県民幸福度日本一」の福岡県を目指します。



福岡県産の農林水産物



北九州空港



三池港



九州新幹線

福岡県が目指す姿に向かって展開する施策 ～県民生活の「安定」「安全」「安心」の向上～



1 活力にあふれ成長力に富んだ経済と雇用の創出

- アジアのビジネス拠点をつくる
- 発展力のある中小企業をつくる
- 足腰の強い農林水産業をつくる
- 雇用対策を充実し、いきいきと働ける環境をつくる
- 地域のそれぞれの特色を活かして魅力ある地域をつくる
- アジアとつながり、地域が密接に連携し発展するための社会資本を整備する



産業用ロボット



福岡アジアコレクション



暴力団追放運動



70歳現役社会づくり



子育て応援の店シンボルマーク



福岡県男女共同参画シンボルマーク

2 災害や犯罪、事故がなく、安全で安心して暮らせること

- 災害に強いまちをつくる
- 犯罪や事故のない社会をつくる
- 暮らしの安全・食の安全を守る

3 高齢者や障害者が安心してはつらつと生活できること

- 高齢者が活躍する社会をつくる
- 高齢者が安心して生活する社会をつくる
- 適切な介護サービスを受けられる社会をつくる
- 障害者が自立して生活できる社会をつくる

4 女性がいきいきと働き活躍できること

- 女性が活躍する社会をつくる
- 社会的・経済的に厳しい状況を強いられている女性を支える

5 安心して子育てができること

- 若者が結婚・子育てに希望を持てる社会をつくる
- 安心して子どもを生み育てることができる社会をつくる
- きめ細かな対応が必要な子どもを支える

6 子ども・若者が夢を抱き、将来に向かってはばたけること

- 個性や能力に富み、学力・体力を備えた子どもを育てる
- 豊かな人間性や志を持ち、たくましく生きる子ども・若者を育てる
- 信頼される学校をつくる



食に関する体験活動

7 誰もが元気で健康に暮らせること

- 生涯を通して健康で過ごせる社会をつくる
- 誰もが必要な医療を受けられる社会をつくる
- 社会的に厳しい状況にある生活困窮者等を支える



福岡県がん検診受診率向上イメージキャラクター「検診くん」

8 心のぬくもりと絆を実感できる社会であること

- NPO・ボランティアが活躍する社会をつくる
- 人、地域のつながりを再生する
- 人権が尊重される心豊かな社会をつくる
- 生涯学習社会をつくる



ふくおか協働ひろば「交流会」

9 環境と調和し、快適に暮らせること

- 低炭素社会・循環型社会をつくる
- 多様なエネルギーを確保する
- 豊かな自然環境を守る
- 快適な生活環境をつくる



自然観察活動

10 豊かな文化を楽しみ、幅広い分野の国際交流を実感できること

- 文化・スポーツなどの活動を盛んにする
- 国際交流・連携を深める
- アジアの知的拠点をつくる



バンコク都との友好協力関係強化に関する覚書締結(2012年2月バンコクにて)

重点的に取り組む施策

総合的に展開する施策の方向のうち、3つの視点を踏まえ、特に重点的に取り組む施策を示しています。

【3つの視点】

- ◇アジアの活力を取り込み、アジアとともに発展する。
- ◇それぞれの地域が特色を活かし、地域の経済を活性化させ元気になる。
- ◇生活者の視点を大事にし、一人ひとりの幸福実感を向上させる。

1 活力にあふれ成長力に富んだ経済と雇用の創出

- グリーンアジア国際戦略総合特区の推進
- 地域経済の活性化と雇用創出
- 農林水産業の競争力の強化
- きめ細かな雇用対策

2 災害や犯罪、事故がなく、安全で安心して暮らせること

- 県民の生命や暮らしを守る防災力の強化
- 暴力団犯罪、飲酒運転の撲滅

3 高齢者や障害者が安心してはつらつと生活できること

- 70歳現役社会づくりの推進
- 高齢者が安心して暮らせる社会づくりの推進
- 障害者雇用の拡大、障害者の社会参加の促進

4 女性がいきいきと働き活躍できること

- 女性が活躍する社会づくりの推進
- 性犯罪対策と配偶者からの暴力対策の推進

5 安心して子育てができること

- 安心して出産や育児ができる社会づくりの推進
- 結婚・子育てを応援する社会づくりの推進

6 子ども・若者が夢を抱き、将来に向かってはばたけること

- 子どもの学力・体力の向上
- 豊かな心を持った子ども・若者の育成

7 誰もが元気で健康に暮らせること

- 生涯を通じた健康づくりの推進
- こころの健康の保持増進

8 心のぬくもりと絆を実感できる社会であること

- NPO・ボランティアとの協働の推進及び活動基盤の強化
- 地域コミュニティの再生・活性化

9 環境と調和し、快適に暮らせること

- エネルギーの地産地消の促進
- 循環型社会づくりの推進

10 豊かな文化を楽しみ、幅広い分野の国際交流を実感できること

- 世界文化遺産の登録推進と世界記憶遺産の活用による地域の振興
- アジアとの多様な交流の推進

計画推進の基盤づくり

1 地方分権の推進

- ・ 国と地方の役割分担の明確化
- ・ 「九州広域行政機構（仮称）」の設立の実現
- ・ 市町村等との連携強化 など

2 行財政改革の推進

- ・ 簡素で効率的な県民視点の体制づくり
- ・ 自ら考え行動する意欲あふれる人づくり
- ・ 時代と県民ニーズに即応した施策の推進
- ・ 歳入・歳出の改革

3 IT化の推進

- ・ 誰もが地域の絆を実感でき、元気に暮らせる社会の確立
- ・ 安全で安心な県民生活の確立
- ・ 未来を拓く教育・文化と国際交流の推進
- ・ 効率的で県民満足度が高い行政サービスの実現
- ・ 活力にあふれた産業の育成と雇用の創出
- ・ 快適で環境にやさしい地域づくり



施策目標 (121件)

この計画をより実効性のあるものとするため、施策の展開に当たっての具体的な目標を掲げます。

これらの目標は、県民生活の「安定」「安全」「安心」の向上のために、行政と民間が共に努力し、県を挙げて取り組んでいくべきものです。

また、社会経済状況の変化等に柔軟に対応するために、必要に応じて見直しを行います。主な目標は下記のとおりです。

| 目 標 | 現状値 | 目標値 (H28年度) |
|-----------------|-------------------|-------------|
| 自動車部品の地元調達率 | 60% (H22年度) | 70% |
| 県内誘致企業数 | 21件 (H22年度) | 50件 |
| 県内延べ宿泊者数 | 12,460千人泊 (H22年度) | 15,000千人泊 |
| 法人化した集落営農組織数 | 95法人 (H22年度末) | 200法人 |
| 大学等就職決定率 | 84.5% (H23.3卒) | 全国平均以上 |
| 高校就職決定率 | 94.6% (H23.3卒) | 全国平均以上 |
| 完全失業率 | 5.8% (H23.7-9) | 5.0% |
| 自主防災組織の組織率 | 63.1% (H23.4) | 90% |
| 刑法犯認知件数 | 78,809件 (H22年) | 70,000件以下 |
| 飲酒運転による交通事故発生件数 | 257件 (H23年) | 130件以下 |
| 交通事故死者数 | 170人 (H22年) | 120人以下 |

| 目 標 | 現状値 | 目標値 (H28年度) |
|-------------------------------------|--------------------|-------------|
| 70歳まで働ける企業の割合 | 16.1% (H22年) | 30% |
| 障害者雇用率 | 1.63% (H23.6) | 1.8% |
| 本県の課長相当職以上に占める女性の割合 | 3.5% (H22年) | 6.0%以上 |
| 子育て女性就職支援センターによる就職者数 | 512人 (H22年度) | 750人 |
| 年間出生数 | 46,818人 (H22年) | 46,000人以上 |
| 保育所入所待機児童数 | 1,063人 (H23.4) | 0人 |
| 全国学力・学習状況調査において全国平均を上回った教科区分数(公立学校) | 2教科区分 (H22年) | 8教科区分 |
| 自殺死亡率(人口10万人対) | 23.3人 (H22年) | 20.6人 |
| NPO・ボランティアと県との協働事業数 | 131件 (H22年度) | 155件 |
| 再生可能エネルギー導入容量 | 299,630kw (H22年度末) | 580,000kw |
| 福岡県の留学生数 | 9,036人 (H22.5) | 21,600人 |



福岡県総合計画 概要版

発行日／平成24年3月
 編 集／福岡県企画・地域振興部総合政策課
 福岡県 企画・地域振興部 総合政策課
 〒812-8577 福岡市博多区東公園7-7
 TEL 092-643-3158 FAX 092-643-3160
 E-mail:seisaku@pref.fukuoka.lg.jp

平成24年3月発行
 福岡県企画・地域振興部総合政策課

| 福岡県行政資料 | |
|------------|------------------|
| 分類記号 CC | 所属コード 4200106 |
| 登録年度 23 | 登録番号 0003 |



※以下、「福岡県総合計画」において、空港施策に関する「1.活力にあふれ成長力に富んだ経済と雇用の創出」「(6)アジアとつながり、地域が密接に連携し発展するための社会資本を整備する」を抜粋

1 活力にあふれ成長力に富んだ経済と雇用の創出

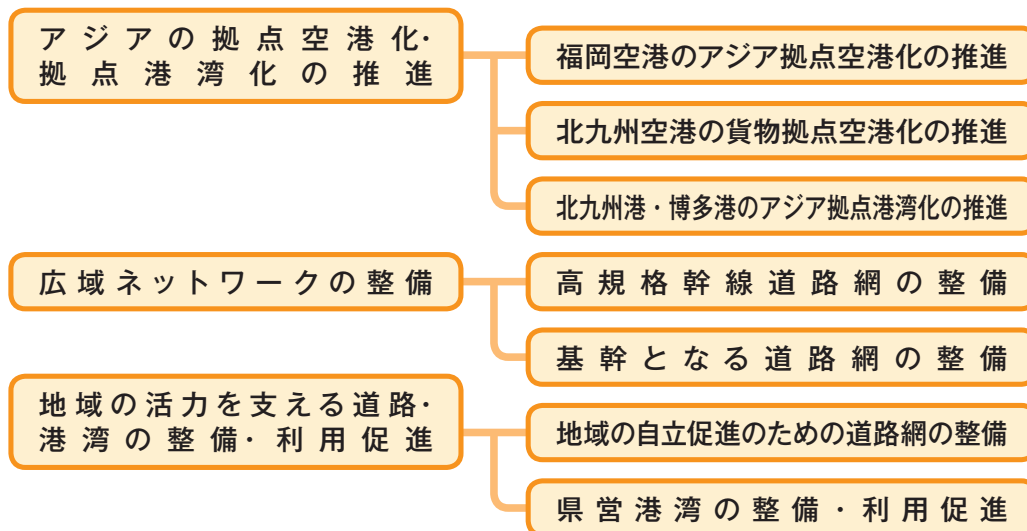
【1 活力にあふれ成長力に富んだ経済と雇用の創出】

(6) アジアとつながり、地域が密接に連携し発展するための社会資本を整備する

目指す姿

- ≫ 空港、港湾、道路などの交通基盤の整備が進み、県内外へヒト・モノが活発に移動する拠点づくりを目指します。
- ≫ アジアとともに発展を遂げることができるよう、アジアとのネットワークをより一層発展させることを目指します。
- ≫ 県内の各地域がその特性を活かしつつ、それぞれが発展できるよう、交通ネットワークを構築することを目指します。

施策の体系



現状・課題

- 福岡空港は、24の国内線と20の国際線を有し（平成24年1月現在）、全国4位の1,634万人（平成22年）が利用するアジアの拠点空港としての役割を担っています。しかしながら、年間の発着回数が約14万回と、滑走路処理容量の14.5万回に近づいており、朝夕のピーク時には航空機の遅延が常態化するなど需給が逼迫している状況です。
- 北九州空港は、東京便、ソウル便が就航し（平成24年1月現在）、120万人（平成22年）が利用しています。平成22年には、上海線の国際定期貨物路線が就航しました。今後は、24時間機能を活かし新たな路線誘致に取り組む必要があります。

- 我が国の貿易に占めるアジアの割合は約5割で、本県においては65%を占めています。平成22年の本県の貿易相手国は、中国が26%、ASEANが17%、韓国が12%となっており、主な輸出品は、半導体部品、自動車となっています。
- 北九州港や博多港は、日本海に面した我が国最大の港であり、アジアの経済発展に伴い極めて大きな潜在力を有しています。北九州港は、中国、韓国、東南アジアなどアジアで35航路の国際コンテナ定期航路を有し、平成22年のコンテナ取扱量は48万TEUとなっています。博多港は、中国、韓国、東南アジアとアジアで31航路の国際コンテナ定期航路を有し、平成22年のコンテナ取扱量は75万TEUとなっています。
- 博多港の平成22年の外国航路船舶乗降人員数は、韓国、釜山航路を中心に88万人となり、中国からのクルーズ船は61回寄航し9万人が訪れました。
- 平成23年11月、北九州港と博多港は、「日本海側拠点港・総合的拠点港」に選定されました。中国、韓国、ロシアなど日本海周辺の対岸諸国の港湾物流拠点としての役割が期待されます。
- 空港や港湾など、ヒトやモノの流れの要となる施設が機能を十分に発揮し、広く地域の発展に寄与するためには、それら交通拠点施設相互の連絡やインターチェンジなどの交通結節点との連絡を強化するとともに、東九州自動車道などの広域道路のネットワークを整備することが不可欠です。
- 地域の自立的かつ持続可能な発展のためには、地域の産業拠点と交通拠点や交通結節点間、またその相互を結ぶ道路網の充実及び交通渋滞対策などによる円滑な交通環境の実現が不可欠です。
- 本県には、重要港湾2港（苅田港、三池港）、地方港湾5港（大牟田港、大島港、宇島港、芦屋港、若津港）の県営港湾があります。苅田港は自動車産業・セメント産業の後背地を有し、三池港は外貿コンテナ航路を有するなど、地域物流の一大拠点として重要な役割を担っています。

施策の方向

【アジアの拠点空港化の推進】

- 福岡空港については、過密化対策として滑走路増設の早期着手・完成、その前提となる平行誘導路の二重化の速やかな実施とともに、国際線の路線数及び便数の充実拡大を図ることにより、アジアの拠点空港化を目指します。
- 北九州空港については、国際貨物便誘致に不可欠な滑走路3,000 mへの延伸の早期実現を図るとともに、アジア全体を取り込んだ貨物拠点空港化を目指します。併せて、深夜早朝の旅客需要を取り込みながら、新たな路線誘致に取り組めます。

【アジアの拠点港湾化の推進】

- 北九州港、博多港については、それぞれの港湾機能を強化するとともに連携を強化し、発展著しいアジアに近いという地理的優位性を生かし、日本海におけるアジアのゲートウェイとして拠点港湾化を推進します。

【広域ネットワークの整備】

- 福岡都市圏や北九州都市圏とのネットワークを強化し、物流・人流の効率化を図るため、平成26年度完成目標である東九州自動車道などの高規格幹線道路や、それを補完する有明海沿岸道路などの地域高規格道路の整備を促進します。
- 地域間の連携が円滑に図られるよう、地域と地域を結ぶ基幹的な道路網の整備を促進します。
- 福岡空港、北九州空港、北九州港、博多港、インターチェンジなど広域交通を担う拠点相互を結ぶ道路網の強化に取り組みます。

【地域の活力を支える道路・港湾の整備・利用促進】

- 地域がそれぞれの特性を活かしつつ自立的に発展できるよう、農林水産業、自動車、バイオなどの地域の産業拠点と空港、港湾、インターチェンジなどを結ぶ道路網の整備を推進します。
- 交通渋滞を緩和し、交通の円滑化を図るため、都市部の道路相互や鉄道との交差点の立体化などの整備を推進します。
- 苅田港については、北部九州自動車150万台先進生産プロジェクトの実現に向け、京築北九州東部地域の産業を支える物流拠点・生産拠点として機能するよう、港湾機能の拡充、工業団地の造成、利用促進を図ります。三池港については、中国・韓国航路の誘致の実現に向け、県南地域の経済・産業を支える国際物流拠点として機能するよう、港湾機能の拡充・利用促進を図ります。



インターチェンジの整備【九州自動車道 鞍手 IC】(鞍手町)